

「焼津市の子ども・若者に関する調査」の概要

1 調査の目的

本調査は、子どもや若者が抱える不安・悩みや将来に関する考えなどを把握し、子どもの成長や若者の生活に関わる市の取組などの方向性及び施策の検討等を目的に実施します。

2 調査の対象

本市在住の 15～39 歳の方（5 歳階層ごと 800 人、合計 4,000 人無作為抽出）

3 調査の方法

調査票を郵送にて配布・回収します（回収は、インターネットでの回答のみ）。

4 調査のスケジュール（予定）

調査票配布：2 月 5 日（月）、回答期限：2 月 29 日（木）

5 調査票案について

本調査票案は、国及び県が実施した「子ども・若者実態調査」との比較分析を行うため、国及び県の調査項目をもとに、複合的な困難への対応に焦点をあてた考察が可能な設問設計としました。

区分	設問		目的等
1. あなたの状況	問 1、問 2、問 3、問 4、 問 5、問 6、問 7	年齢、性別、お住いの小学校区、同居者、家族の人数、生計を立てている人、健康状態	年齢別、性別、校區別等の実態・意向の把握、主観的健康感の把握
2. 普段の生活	問 8、問 9-1、問 9-2、問 9-3、問 9-4、 問 9-5、問 10-1、問 10-2、問 10-3、問 10-4、 問 11、問 12、問 13、問 14	回答者の就学・就労状況、欠席・欠勤や遅刻・早退の状況、起床時間・就寝時間・睡眠時間、学校生活への満足度、生活水準の度合い、家庭生活の満足度、外出頻度	回答者の就学・就労状況等の把握、主観的生活水準の把握、家庭生活の満足度の把握、外出頻度の把握

区分	設問		目的等
3. 「居場所」	問 15, 問 16、問 17	孤独とを感じるか、「居場所」とは何か、「居場所」はどこか	主観的孤独感の把握、具体的な「居場所」のイメージ把握
4. 家族、友人等とのかかわり	問 18、問 19、問 20、問 21、問 22、問 23、問 24、問 25、問 26、問 26-1	家族と一緒に朝食や夕食を食べた日数、家族とのかかわり、友人・知人とのかかわり、地域の人とのかかわり、インターネット上の知り合い等とのかかわり、職場の人とのかかわり、学校や職場におけるトラブルと改善・解決	家族との共食状況の把握、周りの人とのかかわりの程度の把握、学校や職場におけるトラブルとその改善・解決のきっかけの把握
5. あなたの今・将来	問 27、問 27-1、問 28、問 29、問 30、問 30-1、問 32、問 33、問 33-1、問 34、問 35	悩みや困りごと、相談に乗ってくれる人、自分の将来、自分自身について、結婚について、子どもについて、子どもや若者の生活について、幸せについて	悩みや困りごとに対する相談相手の有無の把握、自分自身についての自己分析の把握、結婚に対する考え方の把握、子どもや育児に対する考え方の把握、生活をする上での負担の把握、主観的幸福感の把握
6. こども・若者の意見反映	問 36、問 37、問 37-1、問 38、問 39、問 40	こども基本法、子ども・若者計画の認知度、焼津市へ意見を伝えたいか、意見を伝える際の工夫やルール、焼津市がこどもや若者が希望を持って暮らしていくことができるまちだと思えるか、焼津市に取り組んでほしいこども・若者への支援	法律等の認知度の把握、こどもや若者が焼津市へ意見を伝える意向の把握、焼津市が取り組むべきこども・若者への支援の把握
7. ヤングケアラー	問 41、問 41-1、問 42、問 42-1、問 43	ヤングケアラーの認知度、ヤングケアラーを知ったきっかけ、自分がヤングケアラーだと思うかどうか、家事やお世話を負担と思うか	ヤングケアラーの認知度と情報源の把握、自身がヤングケアラーだと思っているかどうかの主観的感覚の把握。